

# この日を迎え、新たな一歩の始まりー

リニューアルにより充実した内容、地域を代表する博物館を目指して。  
はにわ博物館の奥住館長にその見どころや今後の意気込みをお聞きしました。

## 芝山古墳・はにわ博物館

おくずみ じゅん  
奥住 淳 館長



### リニューアルの見どころはー

このたび、観音教寺で所蔵している埴輪122点、鉄剣・勾玉・土器等198点という大変多くの展示資料の寄託を受けました。このことにより、はにわ博物館としても従来のものに加えて合計181点もの埴輪を展示することとなり、芝山町をはじめ山武地域の埴輪を一堂にご覧いただける充実した常設展示室となりました。

一番の見どころとしては、昭和31年の発掘調査で出土した姫塚の埴輪群で、大型で造形美豊かなのが特徴的です。常設展示室でも「葬列の埴輪」と呼ばれる並びの一部を再現し

### ープロフィールー

【好きな歴史上の人物】 新田 義貞  
【座右の銘】 誠実力行  
【略歴】 平成6年に芝山町役場に入庁し、山武郡市文化財センターに派遣。同10年より社会教育課（現教育課）に勤務し、12年より町史編纂を兼務。同20年より芝山町立芝山古墳・はにわ博物館の学芸員を兼務。同27年より副館長に就任。令和3年4月1日より館長就任（現社会教育・文化振興担当課長）。

ており、その列にある武人埴輪はアゴ髭に帽子を被った独特の風貌で、一番大きなものが約163センチメートルあります。これは「人物埴輪としては最大級」であるとされています。ぜひ、この迫力を間近で実感していただければと思います。

### 埴輪や古墳の魅力とはー

埴輪は粘土で作られた焼き物ですが、ここまで大きいものをどうやって作ったのか、また、古墳についても1,500年も前に造られたものが、現在まで崩れずにその形を残している技術の高さなどを想像してみると、親しみがわくのではないのでしょうか。

### 今後の意気込みはー

観音教寺から寄託というありがたいお話を受けて以降、職員と協力して埴輪運び、展示の仕方などさまざまなことに試行錯誤しながらリニューアル当日を迎えました。

今回のリニューアルにより、はにわ博物館が「日本有数の埴輪の専門館」となったことを自負するとともに、その責任感を強く感じています。町内外の多くの方にその魅力をしっかりと発信していきたいと思っております。また「寄託を受けた埴輪などの調査・研究を深め、学術的な価値を高めていくこと」も私たちの使命であると認識しています。



芝山町立芝山古墳・はにわ博物館



# 大切なのは、未来に繋げることー

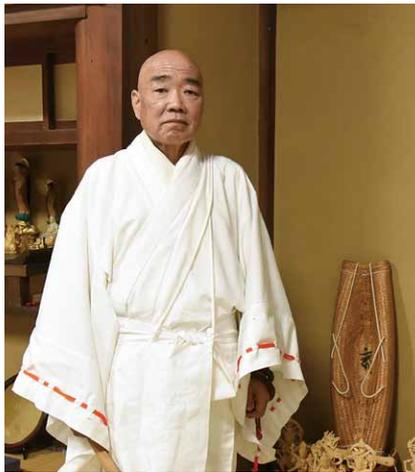
数多くの所蔵品の寄託により実現した今回のリニューアル。  
観音教寺の河合住職に寄託への想いやその胸の内をお聞きしました。

## 寄託の経緯やその想いとはー

観音教寺としても「芝山はにわ博物館」を建立して以降、芝山古墳群の埴輪などの魅力を多くの方に発信してきました。しかし、町内に2つ存在する博物館を一元化し分散している展示資料を集約することが来館者のためになるとともに、今後の埴輪の研究などにも役立てるのではないかと考えました。

そして、それが芝山町としてより充実した内容や魅力の発信に繋がればという思いから、町に対して所蔵品を寄託させていただくことを決意しました。

所蔵品については、先代の濱名住



## 芝山仁王尊観音教寺

## 河合 祖信 住職

### ープロフィールー

【尊敬する人】 伝教大師 最澄  
【座右の銘】 照干一隅、忘己利他  
【略歴】 昭和45年観南祖賢師について出家得度比叡山延暦寺無動寺で小僧生活を送る。同54年比叡山で初回峰行を履修し、以後葛川寺参籠25度を以て大大先達總一和尚に補せられる。同57年父親の遷化に伴い群馬県東漸寺住職を拝命。平成30年観音教寺第58世住職を拝命。そのほか、天台宗宗議会議員、社会福祉法人保育園園長および理事長、吉岡町教育委員長、群馬県PTA連合会副会長、保護司などを歴任。

### リニューアルを迎えた心境ー

無事にリニューアルを迎えられたことは、純粹に大変喜ばしく感じて

職が埴輪発掘に深く携わり、観音教寺として文化活動の一端と捉え大切にしてきた大変意義深い宝物であり、代々引き継がれる大きな意志であると考えています。

今後、寄託した埴輪が多くの方の目にふれ、今まで以上に「はにわの里芝山」の魅力を全国にアピールしていただけることを願っています。さらに、町民の方に対しても「芝山町の文化はにわ」ということをあらためて認識していただき、誇りに感じてもらえたら嬉しく思います。

います。今、埴輪は静かなブームを呼んでいるので一人でも多くの方に来館していただき、ぜひ「本物の埴輪の素晴らしさ」を実感していただきたいと思います。

また、今回のにはにわ博物館のリニューアルを踏まえて、県内有数の古刹である観音教寺としても、今後も引き続き芝山町をはじめ地域の文化振興の発展に尽力していければと考えています。さらに、町などが主導となる観光振興や地域発展、住みよい町づくりなども共存しながら、活気ある地域づくりを一体とって目指していければと考えています。

- 所在地 芝山町芝山438-1
  - 電話 0479-77-1828
  - 時間 午前9時～午後4時30分
  - 休館日 月曜日および祝日の翌日（月曜日が祝日のときはその翌日）、年末年始
  - 入館料 大人200円、子ども100円（小中学生）、65歳以上の方140円、そのほか団体割引など有り
- ※ 「リニューアル記念」として、町内在住・在勤の方は令和3年9月30日まで入館料が無料となります。

